

令和6年6月分

「補償コンサルタント業の動態調査結果」 100社

※令和5年4月分調査から、モニター数を100社としています。

※年度別の推移等についても100社の実績を基に示しています。

1. 総括

令和6年6月の契約総額は2,750.9百万円で対前年同月比（以下同じ。）+0.4%であった（令和5年6月：2,740.0百万円）。

2. 部門別及び発注機関別

(1) 部門別の契約金額における伸び率の上位3位は、

- ①土地評価部門+72.1%（令和6年6月64.2百万円←令和5年6月37.3百万円）
 - ②総合補償部門+29.5%（令和6年6月32.6百万円←令和5年6月25.2百万円）
 - ③機械工作物部門+12.8%（令和6年6月48.4百万円←令和5年6月42.9百万円）
- の順であった。

(2) 発注機関別の契約金額における伸び率の上位3位は、

- ①農水省+204.2%（令和6年6月19.5百万円←令和5年6月6.4百万円）
 - ②その他の省+137.3%（令和6年6月10.7百万円←令和5年6月4.5百万円）
 - ③指定都市+55.2%（令和6年6月120.2百万円←令和5年6月77.4百万円）
- の順であった。

3. 支部別

支部別の契約金額における伸び率の上位3位は、

- ①中部+30.8%（令和6年6月587.3百万円←令和5年6月449.0百万円）
 - ②関東+15.5%（令和6年6月794.9百万円←令和5年6月688.2百万円）
 - ③近畿+10.7%（令和6年6月96.8百万円←令和5年6月87.4百万円）
- の順であった。

発注機関区分の独立行政法人等の対象機関は、以下のとおりです。

独立行政法人水資源機構／独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構／独立行政法人緑資源機構／独立行政法人都市再生機構／独立行政法人環境再生保全機構／独立行政法人空港周辺整備機構／独立行政法人宇宙航空研究開発機構／独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構／日本下水道事業団／日本郵政グループ／東日本高速道路株式会社／中日本高速道路株式会社／西日本高速道路株式会社／本州四国連絡高速道路株式会社／首都高速道路株式会社／阪神高速道路株式会社／東京地下鉄株式会社／成田国際空港株式会社／名古屋高速道路公社／広島高速道路公社／福岡北九州高速道路公社